地域に密着した質の高い医療提供
高血圧症、糖尿病の治療に好実績

天井が高く、落ち着いたたたずまいの待合ホール

適切な治療と生活改善で高血圧克服へ

2013年の開業以来、地域に密着した、質の高い医療を提供している。来院者の疾病で多いのは「高血圧症」、続いて「糖尿病」。人口が比較的若い市東部地区にも、生活習慣病の影が忍び寄っているようだ。高血圧の場合、塩分制限や食事療法も大切だが、「薬が良くなっていますので、きちんと治療を」とアドバイスする院長。運動不足や肥満などに起因するケースでは「(治療と併せて)日常生活を改善することで病状もある程度良くなります」。

糖尿病も、近年は良薬が多数登場し、患者にとっては朗報だ。「昔は合併症が深刻でしたが、今は治療すればひどい合併症にならずに済むようになりました」。「口の渇き」などの自覚症状もあるが、「尿と血液で簡単に検査できます。ぜひ健康診断を受けてほしいですね」。

たかが風邪、むくみと軽く考えないで

最近、風邪のようなせき症状や、むくみを訴えて初診に訪れた患者さんのうち、「心不全」と診断されるケースがある。せき、むくみと甘く見るのは禁物。

一方、循環器内科以外で顕著なのが「せき喘息」。せき止め薬は効かず、喘息用吸入剤だと効き目があるという。「気管支喘息」に悪化する恐れもあり、せきが長く続くようだと、受診を勧める。

市東部地区には呼吸器内科を持つ医療機関は少なく、「禁煙外来」を開設する当院は地域に頼られる存在だ。院長は「子の健康を考えれば、親がまず禁煙を。妊婦の9割は出産まで禁煙しており、出産後も継続してほしい」と応援する。

機器が並び、地域の健康を守る検査室

親身に患者さんと接する診察室内部

院長 **高木　陽一**

1986年、札幌医科大学医学部卒業。少年時代を帯広で過ごす。大学卒業後は同大循環器・腎臓・代謝内分泌内科学へ入局。その後、室蘭市立病院、旭川日赤病院を経て92年より王子総合病院に勤務。透析室長を15年務めたのち、苫小牧泌尿器科循環器内科で内科・透析を担当。

医療法人社団　心交会 **たかぎ内科・循環器内科**

☎(0144)53-7700

苫小牧市北栄町1丁目22番33号

←ホームページはこちらから

診療時間／
月・火・木・金／9:00～13:00　15:00～18:30
水・土／9:00～13:00
休診日／日・祝日

内科・循環器内科・糖尿病内科・呼吸器内科